



富澤敏勝教授

富澤敏勝教授略歴

学歴

1964年3月 法政大学経営学部卒業

職歴

1964年4月 日商株式会社（日商岩井株式会社を経て現・双日株式会社）入社
この間、日商岩井米国会社法務部長を経て日商岩井東京本社法務部長などを歴任

1994年10月 山形大学人文学部教授に就任

2004年12月 山形大学地域共同研究センター長（兼任）就任

役職

1996年4月～ 企業法学会理事

2000年1月～ 国際取引法フォーラム監事

2001年12月～ NPO法人山形専門家ネットワーク理事長

2004年10月～ 国際商取引学会理事

主要業績

1. 著書

（単著）

『国際取引とリスク・マネジメント』悠々社（1994年）全218頁

『国際取引法入門』窓社（1999年）全255頁

（共著）

『国際取引のリスク管理』セルバ書房（2006年）全311頁

「国際取引契約における不可抗力条項とハードシップ条項」企業法学会編集委員会

『企業法学』[第10巻]商事法務（2003年）161～182頁

（分担執筆）

「現代の法学教育」「国際取引と法」「倒産」松村和徳ほか編著『法学最前線』窓社
（1996年）4～11頁、226～231頁、285～287頁

「外国人の地位」高木新二郎編『破産・和議の基礎知識』青林書院（1996年）360～
362頁

「倒産法改正問題と国際倒産法制」企業法学会編集委員会『企業法学』[第8巻]商事法務(2001年) 3～40頁

「貿易金融EDI/Bolero」日弁連法務研究財団編『論点教材 電子商取引の法的課題』日弁連法務研究財団編JFL叢書第4巻商事法務(2004年) 139～158頁

「ジョイント・ベンチャーの終了」澤田壽夫ほか編著『国際的な企業戦略とジョイント・ベンチャー』商事法務(2005年) 217～252頁

「ライブドア vs ニッポン放送事件」「SFP vs ニレコ事件」小林秀之編著『新会社法と会社訴訟の実務』新日本法規(2006年) 251～263頁、264～275頁

2. 論文

(単著)

「国際取引の方法論について」山形大学法政論叢第3号(1995年) 27～37頁

「企業法務から見た民事裁判について」山形大学法政論叢第5号(1996年) 205～216頁

「国際倒産法制改正へのアプローチ — 倒産法制に関する改正検討課題によせて—」山形大学紀要(社会科学)第29巻第2号(1999年) 45～74頁

「企業内文書の提出義務について」山形大学法政論叢35巻2号(2005年) 15～35頁

3. 翻訳

(翻訳)

「外国保険契約の準拠法の選択」企業法学会編集委員会『企業法学』[第7巻]商事法務(1999年) 28～47頁

(共訳)

「独立ギャランティーおよびスタンバイ信用状に関する国連条約」国際商事法務 Vol. 27, No. 3(1999年) 275～283頁

4. 学会報告

「国際倒産法制の動向について—承認援助手続を中心として—」『国際商取引学会年報』第3号(2001年) 203～214頁